

○東洋大学福祉社会デザイン学部規程

令和5年4月1日規程第109号
改正 令和7年4月1日規程第90号
令和8年4月1日規程第41号

(趣旨)

第1条 この規程は、東洋大学学則（昭和24年4月1日施行。以下「学則」という。）に基づき、福祉社会デザイン学部の教育研究に関し必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

第2条 福祉社会デザイン学部は、学則第4条の2に基づき、学部及び各学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を、別表第1のとおり定める。

(卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針)

第3条 福祉社会デザイン学部は、学則第4条の3に基づき、学部及び各学科の卒業の認定及び学位授与に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針を、別表第2のとおり定める。

(教育課程)

第4条 福祉社会デザイン学部は、学則第39条第1項から第5項までの規定に基づき、各学科の教育課程における科目区分、授業科目の名称、単位数、配当及び履修方法を、別表第3のとおり定める。

(卒業に必要な単位等)

第5条 福祉社会デザイン学部は、学則第52条に基づき、各学科の卒業に必要な単位等を、別表第4のとおり定める。

2 人間環境デザイン学科は、4年次の卒業関係科目の履修するための条件を、別表第5のとおり定める。

(履修上限単位数)

第6条 福祉社会デザイン学部は、学則第42条第3項に基づき、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を、24単位とする。ただし、社会福祉学科介護福祉士コース所属学生は、卒業の認定及び学位授与に関する方針に照らし、1年次の秋学期以降、各学期で単位数の上限に4単位を追加することができる。

2 前項に加え、資格取得を目的とした、授業の期間の日程以外の期日に実施する学外実習科目については、1年間で6単位を上限として履修することができる。

(教育職員その他資格)

第7条 学則第45条に基づき、福祉社会デザイン学部で取得できる資格は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 教育職員となる資格
- (2) 社会福祉士試験の受験資格
- (3) 精神保健福祉士試験の受験資格
- (4) 介護福祉士試験の受験資格
- (5) 保育士となる資格
- (6) 社会福祉主事任用資格

2 前項第1号の資格において、福祉社会デザイン学部で取得することができる教育職員免許状の種類及び教科は、次表のとおりとする。

学科	免許状の種類及び教科
子ども支援学科	幼稚園教諭1種免許状
人間環境デザイン学科	高等学校教諭1種免許状（工業）
	高等学校教諭1種免許状（工芸）

3 介護福祉士養成に関する規程は、別に定める。

（資格取得のための授業科目及び単位数）

第8条 福祉社会デザイン学部で資格を取得しようとする者は、次の各号に定める所定の授業科目の単位を修得しなければならない。

- (1) 教育職員の資格 別表第6に掲げる授業科目の単位を修得
- (2) 社会福祉士試験の受験資格 別表第7に掲げる授業科目の単位を修得
- (3) 精神保健福祉士試験の受験資格 別表第8に掲げる授業科目の単位を修得
- (4) 介護福祉士試験の受験資格 別表第9に掲げる授業科目の単位を修得
- (5) 保育士となる資格 別表第10に掲げる授業科目の単位を修得
- (6) 社会福祉主事任用資格 別表第11に掲げる授業科目の単位を修得

（改正）

第9条 この規程の改正は、学長が福祉社会デザイン学部教授会の意見を聴き、学部長会議での連絡調整を経て行う。

附 則（令和5年4月1日規程第109号）

この規程は、2023年4月1日から施行する。

別表第1 教育研究上の目的（第2条関係）

福祉社会デザイン学部

1. 人材の養成に関する目的
①現在の社会情勢を大局的に捉え、社会に真に必要な対応を考えられると同時にその実現に向けて行動できる人材 ②人間の生活や営みを理解すると同時に多様な価値を受容し、社会の多様性の実現に貢献できる人材 ③学びに立脚したプロフェッションを構築すると同時に、他分野とのコミュニケーション・協働に優れた能力が発揮できる人材 ④イノベティブな視点を持ち、新たな価値の創造に貢献できる人材 ⑤グローバル化が進行する時代において、国際性への理解を持つ人材
2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
①各自が学ぶ専門分野における理論を体系的に理解すると同時に実社会への応用を構想できる能力 ②主体的な学びを通じて、課題を抽出すると同時にその対応を提案できる能力 ③高いコミュニケーション能力の獲得に努め、多様な人々と積極的に対話を行う能力 ④継続的な試行と見直しにより、高い専門性・人間力の確立を目指すことができる能力 ⑤母国語以外の国際的言語へ興味を持ちその修得へ努力できる能力
3. その他の教育研究上の目的
学生と教職員の協働により、現代社会の事象を探究し未来へ向けた提案などを発信できる教育研究体制の確立

福祉社会デザイン学部社会福祉学科

1. 人材の養成に関する目的
社会福祉学を基礎とし、誰もがその人らしく生活できる共生社会実現に貢献すると共に、国内外の様々な課題に対峙できるグローバルな人材を育成する。そして、加速する少子高齢化、グローバル化など、社会経済の構造変化に対応する政策・制度、支援技術や福祉ビジネス等を研究し、国内外の幅広い分野において活躍し、それぞれの分野において指導的立場を担える人材、および新たな事業やサービスを展開できる知性と行動力を担える人材の養成を目指している。
2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
①個人の尊厳を重視し支援する能力 ②生活問題を発見し、社会化・普遍化する能力 ③社会資源を調整・開発する能力 ④社会福祉の運営に貢献する能力 ⑤権利を擁護する能力 ⑥グローバル化を推進できる能力
3. その他の教育研究上の目的
福祉社会デザイン学部の他の2学科の教育とも相俟って、自らの専門領域にとどまらず現代社会の諸事象を深く理解し、信念と社会の一員としての自覚をもって行動できる人材を養成する。

福祉社会デザイン学部子ども支援学科

<p>1. 人材の養成に関する目的</p> <p>①専門性に裏打ちされた人材養成 専門的知識と技術を備えた専門職（保育士・幼稚園教諭・社会福祉士等）養成を柱としながら、より広い視野から国内外のさまざまな現場における施策、あらゆる環境のもとでの子ども支援や子ども福祉の行動計画の策定・実行・評価ができる人材を養成する。</p> <p>②ローカルおよびグローバルな視点を兼ね備えた子ども支援職のリーダー養成 国連・持続可能な開発目標（SDGs）を見据え、地球規模の視野と豊かな国際感覚を持ち、多文化共生社会の実現に向け、国内外で活躍できる子ども支援のプロフェッショナルを養成する。</p> <p>③既存の学問領域を横断的に学ぶ幅広い視野をそなえた人材養成 総合大学の強みを生かして多様な学問領域を横断的に学び、さらに地域に暮らす人々のQOL向上を視野におき、多くの機関と連携・協働しながら、社会のさまざまな領域で子どもや子育てを支援する人材を養成する。</p> <p>④保育・幼児教育・子ども家庭福祉領域でICTを活用しながら子育て課題に対応できる人材養成 保育・幼児教育・子ども家庭福祉の実践の評価や家庭とのコミュニケーションの発展につながるICTの活用の推進を通じて、現場でリーダーシップを発揮できる人材を養成する。</p>
<p>2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標</p> <p>①子どもと保護者を支援するための専門知識・技術 子どもの健やかな育ちを支え、保護者・地域と協働し、保育士・幼稚園教諭・社会福祉士としての専門知識・技術を生かして社会に貢献する力。</p> <p>②グローバルな視点を持ちながら地域社会で主体的に活動できるリーダーシップ 多文化共生の意義を理解し、多様な背景を持つ子どもや家族への支援を推進する力。</p> <p>③多分野の知識を統合し、他者と協働して子ども・家族の課題を解決する力 保育・幼児教育・子ども家庭福祉などのさまざまな知見を活用・統合して解決に向けて取り組む力。</p> <p>④ICTを保育・幼児教育・子ども家庭福祉の質の向上や子育て支援に生かす力 ICTを活用しながら保育・幼児教育・子ども家庭福祉に関する情報を共有・管理・分析する力。</p>
<p>3. その他の教育研究上の目的</p> <p>子ども支援学科で養成する人材は、その専門性から、子どものみならず、子育てをしている保護者を支援する力量も必要とされている。そのためには、さらに、社会的に広い知識と、人間への尊敬を基本とする深い思慮が必要であり、それらの育成も目的とする。</p>

福祉社会デザイン学部人間環境デザイン学科

<p>1. 人材の養成に関する目的</p> <p>①建築設計や商品開発・デザインに関する高い技能を有し、社会の要請に応じる都市・建築環境、製品の開発提案が行える人材、デザイン行為を通じて新たなイノベーションを創出し社会をリードする人材を育成する。特に、デザイン提案・商品開発の場面において、ユニバーサルデザインやユーザビリティの視点を備えていることで、独自性および質の高い提案ができる人材の育成に重点を置く。</p> <p>②実務業務における広報、企画、営業などにおいて、デザインあるいはユーザビリティの知識を活かしながら、所属する組織・団体・企業などのイノベーション、顧客へのサービス向上に貢献できる人材を育成する。特に、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を発揮しながら、オリジナリティの高い業務展開・貢献が図れる人材の育成に重点を置く。</p> <p>③デザインに関する技能・知識を活かしながら、多領域の人材との連携により、新たなビジネスを創成する起業家を育成する。特に、福祉、健康増進、情報などの領域の人材との連携により、例えば、福祉施設のICT化に伴うサービス向上、大規模集合住宅地におけるパーソナルモビリティのサービス事業など、新たなビジネスを展開できる人材の育成に重点を置く。</p>

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

- ①一人の人間から社会全体までの広い視野を持ち、デザインの第一線で活躍できる能力
- ②デザインという世界の広がりとは可能性に対して深い理解と造詣を持ち、デザインと社会とを繋ぐ役割を担う能力
- ③高齢者や子ども、障害のある人など多様な状況の人々の特性や暮らしを理解すると同時に尊重し、さらに豊かな生活の実現にむけて、本学科で学んだ広い視野・技術を活用しながら、様々な領域で活躍できる能力
- ④デザインを通じて社会のイノベーションに貢献できる能力

3. その他の教育研究上の目的

人間環境デザインに関わるあらゆる可能性を探求する。
ユニバーサルデザインの考え方を背景として、地域・関連分野の諸施設・他大学等との共同研究を積極的に進めると共に、建築・まちづくり・生活支援機器・住宅改善・プロダクト・インタラクション等に関する教育研究を通して社会に貢献する。
また、インターンシップを活用した、より実践的、実務的な教育を進める。

別表第2 卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針（第3条関係）

福祉社会デザイン学部

1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

学部の教育課程に定められた科目を履修し、本規定に定める卒業要件を満たした、以下の能力を備えた学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。

- (1) 人権及び人間の多様性を尊重する倫理観を持ち、現在及び今後の社会への貢献を志す人材
- (2) 各自が学んだ専門分野において体系的な理論・知識を獲得すると同時に、実社会への応用に向けた行動力を持つ人材
- (3) 多様な人間の共生が実現した、新しい社会の創造に貢献できる人材
- (4) 分析力、構想力、創造力、コミュニケーション力、実践力の獲得に努め、リーダーシップを発揮しつつ、社会の様々な場面でイノベーションに寄与する人材

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

「教育目標」、「卒業認定及び学位授与に関する方針」を踏まえて、専門的な知識及び技術を修得するための教育を行う。また、正課内及び正課外授業において、学士及び社会人として修得すべき能力を培うことも目指す。

I. 教育課程編成の体系化

- (1) 基礎的な学力と豊かな教養の修得を目的とした基盤教育科目を配置する。
- (2) 創立者井上円了の精神を理解するため、基盤教育科目の「哲学・思想」分野の1科目を必修とする。
- (3) 各専門分野の知識を幅広く修得すると同時に高い専門性を獲得するため、各学科における特色を生かした専門コースを設定する。
- (4) 実社会での実践力を養うため、諸資格取得に対応した教育課程の編成及び実践的な科目を配置する。
- (5) 教育内容において、実社会における実践的対応力が求められる学科においては実習科目を、技術や表現手法の修得が必要な学科においては演習科目を適宜配置する。
- (6) グローバル人材育成のため、基盤教育科目に「国際人の形成」分野を配置し、語学や海外研修、留学生対象の科目を配置する。

II. 教育方法、教育充実の取組

- (1) 学部・学科の専門領域の学修を教員と学生が一体となって行い、その成果を積極的に地域や社会に還元する。
- (2) アクティブラーニングなど参加・問題解決型授業を展開し、学生の自主性や創造性を培う教育を展開する。
- (3) 各学科の専門領域の学修と共に、他学科の教育内容への理解を持ち、広い視野と高い見識を有することのできる教育を目指す。
- (4) 実習・演習を踏まえた、資格養成などを視野に入れた実践的な教育を展開する。
- (5) より質の高いキャリア構築を目指し、実務者の教育への参画やインターンシップの導入など、実社会と直結した教育手法を積極的に導入する。

3. 入学者の受入れに関する方針

「人材の養成に関する目的」、「教育目標」を踏まえて、専門性を修得する意欲や素質などを、求める人材像及び本学部の学生受け入れの基本方針を明示する。

- (1) 今後の社会創造にあたり、福祉、次世代育成、デザインの領域からの貢献を目指す学生
- (2) 自分自身の独自性と、高い専門性の確立を目指す学生
- (3) 自分自身の学びと専門性を高めるため、弛まない努力が約束できる学生

1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

社会福祉学科は、地域共生社会実現の観点から、様々な生活問題を解決しコミュニティづくりを主導する福祉系専門職や国内外の多種多様な課題に対峙できる人材を育成するという教育目標のもとに、次の基準を満たす学生に卒業を認定し学位を授与する。

(1) 知識・理解

相談やケアを必要とする人々の支援、コミュニティづくり、社会資源の調整・開発などの社会福祉学に関する体系的知識を修得している。

(2) 思考・判断

様々な生活問題への鋭敏な感受性と深い洞察力を有し、課題解決に向けた支援の方策を検討することができる。

(3) 関心・意欲

少子高齢化やグローバル化により複雑化する社会構造の中で、リーダーシップをとる自覚を持ち、課題の解決に積極的に取り組む意欲を有している。

(4) 態度

ソーシャルワークの根源的思想に基づいて、人権と個人の尊厳を守る倫理観を有し、自らが立てた課題に向けて努力することができる。

(5) 技能・表現

多様な社会問題の解決に資する論理的思考力と、グローバル社会で協働していくことのできるコミュニケーション能力を有している。

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

社会福祉学科では、地域共生社会の実現に貢献するという教育目標およびディプロマ・ポリシーに求める学修成果の修得を実現するため、以下の方針でカリキュラム（教育課程）を編成する。

(1) 社会福祉学、ソーシャルワーク、ケアワークなどの学問領域を主軸に置き、専門性を高めるよう「福祉制度政策系」「福祉社会開発系」「福祉臨床系」といった3つの系（コース）を編成し、基盤教育の履修により、地域共生社会の実現に関連する幅広い知識を修得することができるよう編成する。

(2) 外国語コミュニケーション能力の習得を目指し、英語については英語習熟度別クラスを編成し英語コミュニケーション能力の養成を目指すだけでなく、アカデミックスキル育成のための英語選択科目を配置し、英語による専門教育を実施する。

(3) 1年次よりゼミナール科目を配置し、学問分野における基礎的な学習方法を理解させるとともに、2年次には3つの系を設定し、さらには3年次以降では各系において理論的、実践的課題について発展的な学修ができるように科目を配置する。

(4) 「洞察力」「実践力」といった現場実践能力を高度に修得するよう、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の国家資格の取得や医療福祉へ対応する科目を、学生の興味関心に応じて複数資格の履修も可能となるように配置する。

(5) 自らの問題意識で物事を解明する力を身につけるために、「卒業論文」の執筆を推奨する。

3. 入学者の受入れに関する方針

社会福祉学科は、学士課程教育を行うにあたり、次のような学生を受け入れることとする。

- (1) 現代社会が直面する課題の解決に自ら取り組もうとする主体性と学習意欲をもつ学生。
- (2) 人間と社会について深い洞察力を持ち、思考力と表現力に富む学生。
- (3) 人間の成長・発達に深い関心を持ち、すべての人々を包摂する実践を通して地域共生社会の実現に貢献する意欲のある学生。

＜入学までに修得すべき学習等への取り組み＞

社会福祉の専門性を身につけようと志望する者として、特に次の4点について常に意識的に学習することを求める。

- (1) 社会福祉の専門性は、広範な知識と教養、人間性によって裏打ちされるものであるため、机上の学習だけでなく、社会的活動、文化・芸術活動などにも自主的に取り組むこと。
- (2) 多様な考え方や意見に対して、一定の距離を置くスタンスを身につけるため、論説文などの論理的な文章を十分に理解し、自らの考えを論理的に表現できるスキルの習得を目指すこと。
- (3) 現代社会における政治・経済など、地球規模の社会諸事象について、歴史的観点を含めて、関心を持ち、基礎的知識を獲得しておくこと。
- (4) グローバルな支援活動も視野に収めることを踏まえ、外国語や外国文化に興味・関心を持ち、外国語を用いた積極的なコミュニケーション能力の向上に努めること。

福祉社会デザイン学部子ども支援学科

1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

子ども支援学科では、子どもと保護者を支援するための専門的知識や技術の習得を基本として、グローバルな視点を持ちながら地域社会の保育・幼児教育・子ども家庭福祉をリードしていく力の習得、合わせて多文化共生保育・教育に関わる理解と実践力、保育等の質向上に向けた情報機器活用能力の習得を教育目標として、以下の要件を満たす学生に対して学位を授与する。

(1) 知識・理解

保育学、幼児教育学、子ども家庭福祉学に関する基礎的知識を体系的に習得していること。

(2) 問題解決能力・協同性

保育・幼児教育・子ども家庭福祉の課題に対する科学的探究心を持ち、他者と協同しながら主体的に問題を解決する能力を身につけていること。

(3) 子どもの人権、主体性

子どもの人権や主体性を尊重し、多様な育ちや幸福を支えていくための倫理観を基盤とした保育・教育を行う姿勢と技能を身につけていること。

(4) 多文化共生理解

多様な価値観や文化への関わりを通して、ローカル及びグローバルな視点から保育・幼児教育・子ども家庭福祉における多文化共生の意義や方法を理解していること。

(5) ICT活用能力

保育・幼児教育・子ども家庭福祉の質の向上に向け、ICTを活用して情報を共有、管理、分析する能力を身につけていること。

(6) 幅広い教養

多角的な視野から幅広い教養を身につけ、さまざまな知見を活用・統合する能力を身につけていること。

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

- (1) 基礎的な学力と豊かな教養を身につけるための基盤教育科目を配置する。
- (2) さまざまな子どもや保護者を支援する力を備えるための専門科目を配置する。保育士・幼稚園教諭の資格取得に必要な専門科目を配置する。保育士・幼稚園教諭の資格取得に必要な専門科目を必修・選択として設定し、学びの系統性に配慮しながら順次履修できるよう配置する。
- (3) 諸資格取得のための学外実習は、実習毎に事前・事後学習を徹底し、専門科目との関連に配慮して教育課程を編成する。
- (4) 子ども支援学科に関連する今日的課題を主体的に見出し、問題解決能力の育成を図るために1年次から4年次のゼミナール配置を行う。
- (5) 幼稚園教諭1種免許・保育士資格取得のみならず、社会福祉士受験資格取得が可能なカリキュラムを編成し、高度なソーシャルワーク技能を併せ持つ人材育成を図る。
- (6) グローバルに活躍できる人材を育成するために語学・文化教育にも力を入れ、海外研修に関する科目を設定する。
- (7) 多文化共生社会を実現する力を持った人材養成を目指し、1年次から継続的なカリキュラムを編成する。
- (8) 保育・幼児教育・子ども家庭福祉の分野におけるICT活用能力の習得を目指し、実践的な学びを実現する科目配置を行う。

3. 入学者の受入れに関する方針

以下のような点を入学者の条件として求める。

- (1) 子どもの成長発達や保育・幼児教育・子ども家庭福祉の問題に深い関心を持ち、それを学ぼうとする知的好奇心と強い意志があること。
- (2) 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有していること。
- (3) 対人援助専門職者は援助の過程で他者との連携が求められる。よって、積極的に他者とのかかわり、対話を成立させ、対話を通して相互理解に努めようとする態度を有していること。

1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

人間環境デザイン学科では、身の回りの製品のデザインから、私たちの暮らしの基盤となるまちづくりまでの幅広い分野を対象に、当学科で得た知識や能力を活かして、私たちを取り巻く環境をより良いものに変えていくという意欲を持った、以下のような能力を備えた学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。

- (1) 知識の修得
デザインや構想に関する広範かつ専門的な知識を修得した学生。
- (2) デザインに関わる技術の修得
デザインや構想を表現する具体的な技術や方法を修得した学生。
- (3) 発想力の獲得
デザインや構想に関する着想を発見し、それを形にする能力を獲得した学生。
- (4) コミュニケーション能力の修得
デザインや構想を検討する際に他者と議論を交わしたり、あるいは自分のデザイン（や構想）を伝えるためのコミュニケーション能力を修得した学生。
- (5) 表現力の獲得
デザインや構想を精度の高い作品として表現したり、プレゼンテーションする能力を獲得した学生。
- (6) 哲学の確立
社会情勢や地球環境を理解し、デザイナーとしての哲学をもって社会と関わる能力を獲得した学生。

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

人間環境デザイン学科では4年間を通して以下の3点を重視したカリキュラム構成とする。

- 1. デザイン演習を主軸とした基礎の徹底から専門への展開
- 2. モノとコトのデザインスキルの修得
- 3. 理論（講義）と実践（演習）を関連付けた学修内容の深化
各学年での学修段階については以下のように設定する。
 - (1) 1年次は、モノとコトのデザインをするために必要となる基礎知識・スキルを、講義・演習を通じて徹底して学ぶ。
 - (2) 2年次は、講義を通じてより幅広いデザイン対象（プロダクト、生活支援機器から建築・都市まで）の基礎知識を深めると共に、1年次に学んだデザインの基礎スキルをもとにしたデザイン手法を修得する。
 - (3) 3年次以降は、より専門的な知識と実践的な技術を学ぶ。学生の希望を尊重しつつ、設定された三つのコース、空間デザインコース（※1）、生活環境デザインコース（※2）、プロダクトデザインコース（※3）の各分野で、より高度なデザイン表現と、その背後にある理念や知識について学ぶ。
 - (4) 3年生秋学期からプレゼミに所属し、4年生春学期から研究室に配属することで、さらに高度なレベルの学びを深める。

（※1）空間デザインコース：建築やまちという視点で人間環境を考えるコースである。建築意匠、建築計画、建築構法など建物のデザイン、さらには都市計画、まちづくり、バリアフリーなど、人々を取り巻くすべての生活空間にまで視野を広げて、豊かな暮らしの環境を考えていく。

（※2）生活環境デザインコース：さまざまな人の暮らしという視点で人間環境を考えるコースである。住居学、福祉住環境計画、子ども環境、障害のある方のための道具のデザインなど、利用者の参加による使い手の顔が見える人間中心設計や、ユニバーサルデザインによる、生活者の視点に立ったデザインを学ぶ。

（※3）プロダクトデザインコース：製品や情報という視点で人間環境を考えるコースである。製品のデザイン、情報デザイン、メカトロニクスなど広い分野にわたって、「モノ」や「コト」のデザインから人々の暮らしを考えていく。

3. 入学者の受入れに関する方針

人間環境デザイン学科は、人間を取り巻く環境を「デザイン」という視点から学びを深める学科である。

デザインに関わる分野は幅広く多様な人材が参加している世界であり、知識と意志があれば、誰でもデザインの世界の中で活動できる可能性がある。

特に、これからの社会ではモノを生み出す行為と共に、コトを創り出す能力も求められ、モノ・コトのデザインは人の暮らしを取り巻く環境のすべてに影響を及ぼす行為だと柔軟に理解した上で、

- (1) 自分の可能性を信じ、探求する意欲を持つ学生
- (2) 自分のデザイン能力を磨こうとする意欲のある学生
- (3) 問題の本質を探り、柔軟な解決方法を発想しようとする熱意をもった学生を受け入れる。

別表第3 教育課程（第4条関係）

（1）福祉社会デザイン学部 基盤教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
哲学・思想	選択必修	哲学	1～4	2	2単位選択必修
哲学・思想	選択必修	生命と倫理	1～4	2	
哲学・思想	選択必修	宗教学	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	日本文学	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	外国文学	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	歴史学	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	美術一般	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	音楽一般	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	文化人類学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	経済学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	経営学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	法学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	政治学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	地理学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	社会学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	心理学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	統計学	1～4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択	数学	1～4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択	物理学	1～4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択	現代化学	1～4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択	生物学	1～4	2	
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	地域文化研究A	1～4	2	
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	地域文化研究B	1～4	2	
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	地域文化研究C	1～4	2	
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	地域文化研究D	1～4	2	
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	地域文化研究E	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	英語および英語圏社会事情	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	中国語および中国語圏社会事情	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	フランス語およびフランス語圏社会事情	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	韓国語および韓国語圏社会事情	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	留学のすすめ	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	異文化理解概論	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	海外研修Ⅰ	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	海外研修Ⅱ	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	海外実習Ⅰ	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	海外実習Ⅱ	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外研修Ⅰ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外研修Ⅱ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外研修Ⅲ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外研修Ⅳ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外実習Ⅰ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外実習Ⅱ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外実習Ⅲ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外実習Ⅳ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅠA	1	1	
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅠB	1	1	
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅡA	1	1	
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅡB	1	1	
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅢA	2	1	
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅢB	2	1	
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅣA	2	1	
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅣB	2	1	
国際人の形成（語学）	選択	Intercultural Communication Skills IA	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Intercultural Communication Skills IB	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Intercultural Communication Skills IIA	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Intercultural Communication Skills IIB	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	English Test Preparation I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	English Test Preparation II	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	中国語Ⅰ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	中国語Ⅱ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	フランス語Ⅰ	1～4	1	

国際人の形成 (語学)	選択	フランス語Ⅱ	1~4	1		
国際人の形成 (語学)	選択	ドイツ語Ⅰ	1~4	1		
国際人の形成 (語学)	選択	ドイツ語Ⅱ	1~4	1		
国際人の形成 (語学)	選択	韓国語Ⅰ	1~4	1		
国際人の形成 (語学)	選択	韓国語Ⅱ	1~4	1		
国際人の形成 (語学)	選択	Business English Communicator	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	アカデミックライティング	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	テクニカルライティング	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	1~4	2	留学支援科目	
国際人の形成 (語学)	選択	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Pre-Study Abroad: Listening/Speaking	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Pre-Study Abroad: Writing	1~4	1		
国際人の形成 (語学)	必修	日本語Ⅰ	1~4	1	外国人学生のみ履修可	
国際人の形成 (語学)	必修	日本語Ⅱ	1~4	1		
国際人の形成 (語学)	必修	日本事情Ⅰ	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	必修	日本事情Ⅱ	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese A (Theory)	1~4	4	交換留学生のための初修日本語・日本文化科目	
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese B (Theory)	1~4	4		
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese A (Practice)	1~4	4		
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese B (Practice)	1~4	4		
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Reading A	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Reading B	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Listening A	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Listening B	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Writing A	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Writing B	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Speaking A (Project Work)	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Speaking B (Project Work)	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Culture and Society A	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Culture and Society B	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Introduction to Japanology A	1~4	2		
国際人の形成 (語学)	選択	Introduction to Japanology B	1~4	2		
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択/選択必修	キャリアデザイン入門	1	2	子ども支援学科、人間環境デザイン学科2単位 選択必修	
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択/選択必修	コミュニケーション&マナー	1	2		
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択/選択必修	キャリアデザイン実践	2	2		
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択/選択必修	キャリアデベロップメント	3~4	2		
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択/選択必修	インターンシップ入門	3~4	2		
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択/選択必修	アントレプレナーシップ	3~4	2		
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択/選択必修	口頭表現法	1~4	2		
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択/選択必修	プレゼンテーション技法	1~4	2		
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択/選択必修	文章読解	1~4	2		
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択/選択必修	レポート・論文のまとめ方	1~4	2		
キャリア・市民形成 (市民形成)	選択/選択必修	日本国憲法	1~4	2		子ども支援学科、人間環境デザイン学科2単位 選択必修
キャリア・市民形成 (市民形成)	選択/選択必修	グローバル市民論	1~4	2		
キャリア・市民形成 (市民形成)	選択/選択必修	環境政策論	1~4	2		
キャリア・市民形成 (市民形成)	選択/選択必修	情報化社会と人間	1~4	2		
キャリア・市民形成 (市民形成)	選択/選択必修	ダイバーシティ論	1~4	2		
キャリア・市民形成 (市民形成)	選択/選択必修	障害学	1~4	2		
キャリア・市民形成 (市民形成)	選択/選択必修	ジェンダー論	1~4	2		
キャリア・市民形成 (市民形成)	選択/選択必修	社会貢献活動入門	1~4	2		
キャリア・市民形成 (市民形成)	選択/選択必修	地域マネジメント	1~4	2		
キャリア・市民形成 (市民形成)	選択/選択必修	公務員論	1~4	2		
キャリア・市民形成 (市民形成)	選択/選択必修	食と健康	1~4	2		
キャリア・市民形成 (市民形成)	選択/選択必修	基礎会計学	1~4	2		
キャリア・市民形成 (情報)	必修	情報リテラシーⅠ	1~4	2	社会福祉学科のみ情報リテラシーⅡ・プログラミング基礎Ⅰから2単位選択必修、人間環境デザイン学科のみ情報リテラシーⅠ・情報リテラシーⅡ4単位必修	
キャリア・市民形成 (情報)	選択/選択必修/必修	情報リテラシーⅡ	1~4	2		
キャリア・市民形成 (情報)	選択/選択必修	プログラミング基礎Ⅰ	1~4	2		
キャリア・市民形成 (情報)	選択	プログラミング基礎Ⅱ	1~4	2		
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技Ⅰ	1~4	1		
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技Ⅱ	1~4	1		

健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技Ⅲ	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技Ⅳ	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学講義Ⅱ	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合A	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合B	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合C	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合D	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合E	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合F	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合G	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合H	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合I	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合J	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合K	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合L	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合M	1～4	2	
総合・学際	選択	総合A	1～4	2	
総合・学際	選択	総合B	1～4	2	
総合・学際	選択	総合C	1～4	2	
総合・学際	選択	総合D	1～4	2	
総合・学際	選択	総合E	1～4	2	
総合・学際	選択	総合F	1～4	2	

(2) -1 福祉社会デザイン学部社会福祉学科 専門教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学科専門科目	必修	社会福祉学入門	1	2	
学科専門科目	必修	社会福祉学基礎演習Ⅰ	1	2	
学科専門科目	必修	社会福祉学基礎演習Ⅱ	1	2	
学科専門科目	必修	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	
学科専門科目	必修	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1	2	
学科専門科目	必修	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	
学科専門科目	必修	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1	2	
学科専門科目	必修	社会福祉学専門演習Ⅰ	3	2	
学科専門科目	必修	社会福祉学専門演習Ⅱ	3	2	
学科専門科目	必修	社会福祉学専門演習Ⅲ	4	2	
学科専門科目	必修	社会福祉学専門演習Ⅳ	4	2	
学科専門科目	選択必修	社会福祉学総合演習Ⅰ	2	2	いずれか1科目 選択必修
学科専門科目	選択必修	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択必修	社会福祉学総合演習Ⅱ	2	2	いずれか1科目 選択必修
学科専門科目	選択必修	ソーシャルワーク演習Ⅱ(専門)	2	2	
学科専門科目	選択	社会福祉調査の応用	1	2	
学科専門科目	選択	統計情報処理および実習	1	2	
学科専門科目	選択	アドミニストレーション論	1	2	
学科専門科目	選択	欧米の社会福祉史	1	2	
学科専門科目	選択	社会開発論	1	2	
学科専門科目	選択	医学概論	1	2	
学科専門科目	選択	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	1	2	
学科専門科目	選択	高齢者福祉	1	2	
学科専門科目	選択	児童・家庭福祉	1	2	
学科専門科目	選択	社会福祉調査の基礎	1	2	
学科専門科目	選択	社会福祉発達史	1	2	
学科専門科目	選択	障害者福祉	1	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	ケアワーク論	2	2	
学科専門科目	選択	精神医学と精神医療Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	精神医学と精神医療Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉の原理Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	保健医療と福祉	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ(専門)	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ(専門)(精神)	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ(専門)(精神)	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	1	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	刑事司法と福祉	2～3	2	
学科専門科目	選択	権利擁護を支える法制度	2～3	2	
学科専門科目	選択	社会保障Ⅰ	2～3	2	
学科専門科目	選択	社会保障Ⅱ	2～3	2	
学科専門科目	選択	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2～3	2	
学科専門科目	選択	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2～3	2	
学科専門科目	選択	貧困に対する支援	2～3	2	
学科専門科目	選択	福祉サービスの組織と経営	2～3	2	
学科専門科目	選択	質的調査法	2～4	2	
学科専門科目	選択	社会統計解析法	2～4	2	
学科専門科目	選択	社会統計学	2～4	2	
学科専門科目	選択	SDGs入門	2～4	2	
学科専門科目	選択	ケアマネジメント論	2～4	2	
学科専門科目	選択	現代社会とメンタルヘルス	2～4	2	
学科専門科目	選択	国際福祉開発交流	2～4	2	
学科専門科目	選択	災害と福祉	2～4	2	
学科専門科目	選択	ジェンダーと福祉	2～4	2	
学科専門科目	選択	スクールソーシャルワーク論	2～4	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルアクション論	2～4	2	
学科専門科目	選択	人間の幸福とペット	2～4	2	
学科専門科目	選択	バリアフリー論	2～4	2	
学科専門科目	選択	福祉ICT	2～4	2	
学科専門科目	選択	居住福祉論	2～4	2	

学科専門科目	選択	国際社会福祉論A	2~4	2	
学科専門科目	選択	国際社会福祉論B	2~4	2	
学科専門科目	選択	社会調査および実習Ⅰ	2~4	2	
学科専門科目	選択	社会調査および実習Ⅱ	2~4	2	
学科専門科目	選択	社会福祉国際体験演習A	2~4	2	
学科専門科目	選択	社会福祉国際体験演習B	1~4	2	
学科専門科目	選択	社会福祉国際体験演習C	1~4	2	
学科専門科目	選択	社会福祉国際体験演習D	1~4	2	
学科専門科目	選択	精神障害リハビリテーション論	3	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉制度論	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ(専門)	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅲ(専門)	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅳ(専門)	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3	1	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3	1	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3	4	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅰ(専門)(精神)	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅱ(専門)(精神)	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ(精神)	3	1	
学科専門科目	選択	価値と倫理に基づく実践史	3~4	2	
学科専門科目	選択	現代的福祉課題A	3~4	2	
学科専門科目	選択	現代的福祉課題B	3~4	2	
学科専門科目	選択	社会福祉の権利	3~4	2	
学科専門科目	選択	制度・政策・施設史	3~4	2	
学科専門科目	選択	医療ソーシャルワーク論	3~4	2	
学科専門科目	選択	医療福祉演習Ⅰ	3~4	2	
学科専門科目	選択	医療福祉演習Ⅱ	3~4	2	
学科専門科目	選択	地域医療福祉専門実習Ⅰ	3~4	2	
学科専門科目	選択	地域医療福祉専門実習Ⅱ	3~4	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅴ(専門)	4	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅲ(専門)(精神)	4	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ(精神)	4	1	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(精神)	4	1	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習(精神)	4	4	
学科専門科目	選択	卒業論文	4	4	
学科専門科目	選択	社会福祉学特別講義Ⅰ	3~4	2	
学科専門科目	選択	社会福祉学特別講義Ⅱ	3~4	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護過程Ⅰ	1	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護総合演習Ⅰ	1	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉援助概論Ⅰ	1	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉実習Ⅰ	1	2	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅰ	1	1	
介護福祉士コース科目	選択	認知症の理解Ⅰ	1~4	2	
介護福祉士コース科目	選択	認知症の理解Ⅱ	1~4	2	
介護福祉士コース科目	選択	発達と老化の理解	1~4	2	
介護福祉士コース科目	選択	こころとからだのしくみⅠ	1~4	2	
介護福祉士コース科目	選択	こころとからだのしくみⅡ	1~4	2	
介護福祉士コース科目	選択	こころとからだのしくみⅢ	1~4	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護コミュニケーション技術Ⅰ	2	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護過程Ⅱ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護総合演習Ⅱ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護総合演習Ⅲ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉援助概論Ⅱ	2	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉実習Ⅱ	2	3	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅱ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅲ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅳ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅴ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	医療的ケアⅠ	3	2	
介護福祉士コース科目	選択	医療的ケアⅡ	3	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護コミュニケーション技術Ⅱ	3	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護過程Ⅲ	3	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護総合演習Ⅳ	3	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉実習Ⅲ	3	3	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅵ	3	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅶ	3	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅷ	3	1	

介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅹ	3	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護教育方法	3～4	2	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援のための運動学とリハビリテーション	3～4	2	
介護福祉士コース科目	選択	実習指導の理論と方法	3～4	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護過程の応用	4	1	
介護福祉士コース科目	選択	医療的ケアⅢ	4	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護過程Ⅳ	4	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉実習Ⅳ	4	2	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅸ	4	1	

(2) -2 福祉社会デザイン学部子ども支援学科 専門教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学科専門科目	必修	子ども支援学概論	1	2	
学科専門科目	必修	子ども支援学演習Ⅰ	1	1	
学科専門科目	必修	教育基礎論	1	2	
学科専門科目	必修	教育制度論	1	2	
学科専門科目	必修	幼児教育論	1	2	
学科専門科目	必修	発達心理学	1	2	
学科専門科目	必修	子ども支援学演習ⅡA	2	1	
学科専門科目	必修	子ども支援学演習ⅡB	2	1	
学科専門科目	必修	多文化共生保育・教育	3	1	
学科専門科目	必修	子ども支援学演習ⅢA	3	1	
学科専門科目	必修	子ども支援学演習ⅢB	3	1	
学科専門科目	必修	子ども支援学演習ⅣA	4	1	
学科専門科目	必修	子ども支援学演習ⅣB	4	1	
学科専門科目	選択必修	子どもソーシャルワーク	3	2	いずれか1科目 選択必修
学科専門科目	選択必修	ソーシャルワーク演習Ⅳ(専門)	3	2	
学科専門科目	選択必修	卒業論文	4	4	いずれか1科目 選択必修
学科専門科目	選択必修	卒業制作	4	2	
学科専門科目	選択	保育原理	1	2	
学科専門科目	選択	児童・家庭福祉	1	2	
学科専門科目	選択	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	保育者論	2	2	
学科専門科目	選択	社会的養護	1	2	
学科専門科目	選択	子ども家庭支援論	4	2	
学科専門科目	選択	子どもと健康	1	1	
学科専門科目	選択	子どもと人間関係	1	1	
学科専門科目	選択	子どもと環境	2	1	
学科専門科目	選択	子どもと言葉	1	1	
学科専門科目	選択	子どもと表現Ⅰ	1	1	
学科専門科目	選択	子どもと表現Ⅱ	1	1	
学科専門科目	選択	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	医学概論	1	2	
学科専門科目	選択	社会福祉発達史	1	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1	2	
学科専門科目	選択	子どもの権利と教育	1~4	2	
学科専門科目	選択	子育て支援実践	1~4	1	
学科専門科目	選択	子どもと文学	1~4	2	
学科専門科目	選択	海外保育フィールドワーク	1~4	2	
学科専門科目	選択	教育と福祉	1~4	2	
学科専門科目	選択	生活と総合学習	1~4	2	
学科専門科目	選択	多文化共生保育・教育実践	1~4	1	
学科専門科目	選択	国語表現法	1~4	2	
学科専門科目	選択	国際児童福祉	1~4	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	子どもの保健	2	2	
学科専門科目	選択	子どもの健康と安全	3	1	
学科専門科目	選択	子どもの理解と援助	3	1	
学科専門科目	選択	子どもの食と栄養(実習含む)	1	2	
学科専門科目	選択	社会的養護内容	2	1	
学科専門科目	選択	乳児保育Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	乳児保育Ⅱ	4	1	
学科専門科目	選択	保育実習ⅠA(施設)	2	2	
学科専門科目	選択	保育実習指導ⅠA(施設)	2	1	
学科専門科目	選択	教育心理学	2	1	
学科専門科目	選択	子ども家庭支援の心理学	3	2	
学科専門科目	選択	保育内容の指導法(言葉)	2	1	
学科専門科目	選択	保育内容の指導法(健康)	2	1	
学科専門科目	選択	保育内容の指導法(人間関係)	2	1	
学科専門科目	選択	保育内容の指導法(環境)	3	1	
学科専門科目	選択	保育内容の指導法(音楽表現)	3	1	
学科専門科目	選択	保育内容の指導法(造形表現)	2	1	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ(専門)	2	2	

学科専門科目	選択	社会福祉調査の基礎	1	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅱ（専門）	2	2	
学科専門科目	選択	保健医療と福祉	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	1	
学科専門科目	選択	高齢者福祉	1	2	
学科専門科目	選択	障害者福祉	1	2	
学科専門科目	選択	権利擁護を支える法制度	2～3	2	
学科専門科目	選択	貧困に対する支援	2～3	2	
学科専門科目	選択	刑事司法と福祉	2～3	2	
学科専門科目	選択	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2～3	2	
学科専門科目	選択	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2～3	2	
学科専門科目	選択	福祉サービスの組織と経営	2～3	2	
学科専門科目	選択	社会保障Ⅰ	2～3	2	
学科専門科目	選択	社会保障Ⅱ	2～3	2	
学科専門科目	選択	特別支援教育・保育Ⅰ	1	1	
学科専門科目	選択	特別支援教育・保育Ⅱ	2	1	
学科専門科目	選択	保育実習ⅠB（保育所）	3	2	
学科専門科目	選択	保育実習指導ⅠB（保育所）	3	1	
学科専門科目	選択	保育・教育相談	3	2	
学科専門科目	選択	幼児教育方法（情報機器の活用を含む）	3	2	
学科専門科目	選択	保育指導法	3	2	
学科専門科目	選択	保育カリキュラム論	2	2	
学科専門科目	選択	保育内容総論	1	1	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ（専門）	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅲ（専門）	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3	1	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3	1	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3	4	
学科専門科目	選択	子育て支援	4	1	
学科専門科目	選択	保育実習指導Ⅱ（保育所）	4	1	
学科専門科目	選択	保育実習指導Ⅲ（施設）	4	1	
学科専門科目	選択	保育実習Ⅱ（保育所）	4	2	
学科専門科目	選択	保育実習Ⅲ（施設）	4	2	
学科専門科目	選択	教育実習Ⅲ（事前・事後指導を含む）	3	5	
学科専門科目	選択	保育・教職実践演習	4	2	
学科専門科目	選択	音楽表現専門演習	2～4	2	
学科専門科目	選択	発達心理学専門演習	2～4	2	
学科専門科目	選択	保育音楽表現技術Ⅰ	2～4	2	
学科専門科目	選択	保育音楽表現技術Ⅱ	2～4	2	
学科専門科目	選択	音楽あそびの実践	2～4	2	
学科専門科目	選択	体育あそびの実践	2～4	2	
学科専門科目	選択	造形あそびの実践	2～4	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅴ（専門）	4	2	

(2) - 3 福祉社会デザイン学部 人間環境デザイン学科 専門教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学科専門科目	必修	人間環境デザイン学概論	1	2	
学科専門科目	必修	ユニバーサルデザイン概論	1	2	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン基礎演習Ⅰ	1	3	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン基礎演習Ⅱ	1	3	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン基礎演習Ⅲ	2	3	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン総合演習	2	3	
学科専門科目	必修	空間デザイン演習ⅠA	3	3	空間デザイン コースのみ必修 他コースでは選 択
学科専門科目	必修	空間デザイン演習ⅠB	3	3	
学科専門科目	必修	空間デザイン演習ⅡA	4	2	空間デザイン演習ⅡB
学科専門科目	必修	空間デザイン演習ⅡB	4	2	
学科専門科目	必修	生活環境デザイン演習ⅠA	3	3	生活環境デザイ ンコースのみ必 修他コースでは 選択
学科専門科目	必修	生活環境デザイン演習ⅠB	3	3	
学科専門科目	必修	生活環境デザイン演習ⅡA	4	2	生活環境デザイ ン演習ⅡB
学科専門科目	必修	生活環境デザイン演習ⅡB	4	2	
学科専門科目	必修	プロダクトデザイン演習ⅠA	3	3	プロダクトデザ インコースのみ 必修他コースで は選択
学科専門科目	必修	プロダクトデザイン演習ⅠB	3	3	
学科専門科目	必修	プロダクトデザイン演習ⅡA	4	2	プロダクトデザ イン演習ⅡB
学科専門科目	必修	プロダクトデザイン演習ⅡB	4	2	
学科専門科目	必修	卒業研究	4	2	
学科専門科目	選択	製品と情報のUD	1	2	
学科専門科目	選択	人間工学	2	2	
学科専門科目	必修	CAD演習Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	建築歴史意匠A	1	2	
学科専門科目	選択	プロダクトデザイン基礎	1	2	
学科専門科目	選択	発達と障害	1	2	
学科専門科目	選択	生活支援デザイン概論	1	2	
学科専門科目	選択	材料・素材一般	1	2	
学科専門科目	選択	建築生産	1	2	
学科専門科目	選択	色彩論	1	2	
学科専門科目	選択	マーケティング	2	2	
学科専門科目	選択	CAD演習Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	住居計画	2	2	
学科専門科目	選択	建築・都市法規	2	2	
学科専門科目	選択	建築歴史意匠B	2	2	
学科専門科目	選択	生活空間計画	2	2	
学科専門科目	選択	コンピュータ・グラフィックス	2	2	
学科専門科目	選択	産業とプロダクトデザイン	3	2	
学科専門科目	選択	福祉デザイン工学概論	2	2	
学科専門科目	選択	構造力学	2	2	
学科専門科目	選択	都市・まちのデザイン	1	2	
学科専門科目	選択	道具の歴史	1	2	
学科専門科目	選択	デザイン工学基礎	2	2	
学科専門科目	選択	デザイン工学応用	2	2	
学科専門科目	選択	ヒューマンインターフェース	2	2	
学科専門科目	選択	インテリアデザイン	2	2	
学科専門科目	選択	環境計画	2	2	
学科専門科目	選択	デザイン思考法	2	2	
学科専門科目	選択	まちづくり	2	2	
学科専門科目	選択	認知科学	3~4	2	
学科専門科目	選択	ランドスケープデザイン	3~4	2	
学科専門科目	選択	デザイン特別講義	3~4	2	
学科専門科目	選択	安全工学	3~4	2	
学科専門科目	選択	調査分析のデザイン	3~4	2	
学科専門科目	選択	建築とまちのUD	3~4	2	
学科専門科目	選択	情報メディアデザイン	3~4	2	
学科専門科目	選択	インターンシップA	3~4	2	
学科専門科目	選択	インターンシップB	3~4	2	
学科専門科目	選択	インターンシップC	3~4	2	
学科専門科目	選択	インターンシップD	3~4	2	
学科専門科目	選択	建築空間構成論	3~4	2	
学科専門科目	選択	建築設計論	3~4	2	
学科専門科目	選択	設備計画	3~4	2	
学科専門科目	選択	材料力学	3~4	2	
学科専門科目	選択	構法計画	3~4	2	

学科専門科目	選択	構法計画演習	3~4	1	
学科専門科目	選択	都市計画論	3~4	2	
学科専門科目	選択	福祉デザイン工学各論	3~4	2	
学科専門科目	選択	リハビリテーション工学	3~4	2	
学科専門科目	選択	医療福祉建築計画	3~4	2	
学科専門科目	選択	支援技術とデザイン	3~4	2	
学科専門科目	選択	福祉住環境コーディネート論	3~4	2	
学科専門科目	選択	環境デザイン論	2	2	
学科専門科目	選択	情報デザインⅠ	2	2	
学科専門科目	選択	情報デザインⅡ	3~4	2	
学科専門科目	選択	プロダクトデザインⅠ	3~4	2	
学科専門科目	選択	プロダクトデザインⅡ	3~4	2	
学科専門科目	選択	グラフィックデザイン論	3~4	2	
学科専門科目	選択	メカトロニクス・デザイン	3~4	2	
学科専門科目	選択	表現手法	3~4	2	
学科専門科目	選択	International Design Practices	1~4	2	
学科専門科目	選択	環境設計演習	4	2	
学科専門科目	選択	デザインセミナー	1~4	2	
学科専門科目	選択	デザインスタジオⅠ	1~4	2	
学科専門科目	選択	デザインスタジオⅡ	1~4	2	

(3) - 1 福祉社会デザイン学部社会福祉学科 他学部他学科開放科目

学部	学科	科目名	配当学年	単位数	履修方法
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	保育原理	1	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	教育と福祉	1～4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	社会的養護	1	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	子ども家庭支援論	4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	教育基礎論	1	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	国際児童福祉	1～4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	子どもの保健	2	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	発達心理学	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	人間工学	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠A	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	プロダクトデザイン基礎	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	マーケティング	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠B	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	産業とプロダクトデザイン	3	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	道具の歴史	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	ヒューマンインターフェース	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	安全工学	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	情報メディアデザイン	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	リハビリテーション工学	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	医療福祉建築計画	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	支援技術とデザイン	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	福祉住環境コーディネータ論	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	環境デザイン論	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	International Design Practices	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康・スポーツの自然科学	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康・スポーツの人文・社会科学	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ哲学	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	運動学（運動方法学を含む）	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康スポーツ情報	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	コーチング概論	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	力学基礎	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康スポーツ統計	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	解剖学	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	レクリエーション論	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	生涯スポーツ論	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	精神保健学	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康スポーツ文化論	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康スポーツマネジメント	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツビジネス	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	免疫と薬理	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	生活習慣と健康	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	トレーニング概論	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツのコーチング理論Ⅰ	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツのコーチング理論Ⅱ	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ生理学	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	バイオメカニクス	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	センシング技術	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	人体組織学	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	運動疫学	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康社会学	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	ヘルスプロモーション論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康教育学	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	学校保健（小児保健を含む）	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	障がい者スポーツ論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ史	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ社会学	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ人類学	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	日本文化とスポーツ	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	国際開発論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	国際交流論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ医学Ⅰ（内科）	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ医学Ⅱ（整形外科）	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	アスリートの健康（予防とマネジメント）	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	アスレティックトレーニング論	2～4	2	

健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ組織論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	トップスポーツ論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ政策論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ施設マネジメント	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツとメディア	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	地域スポーツクラブ論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツマーケティング	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	測定評価	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツの法と倫理	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	身体文化論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康政策と行政	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツとコンディショニング	3~4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	情報処理数学Ⅰ	1	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	情報処理数学Ⅱ	1	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	栄養と心理	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	プログラミング言語Ⅰ	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	プログラミング言語Ⅱ	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	マーケティング学	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	意思決定理論	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	食品パッケージ論	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	データサイエンスⅠ	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	データサイエンスⅡ	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	認知科学	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	マスコミ概論	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	行動経済学	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	起業基礎 (ビジネスマナー含む)	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	ソムリエ概論	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	医療保険	4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	機械学習Ⅰ	4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	機械学習Ⅱ	4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	持続可能社会と食環境づくり	3	2	

(3) - 2 福祉社会デザイン学部子ども支援学科 他学部他学科開放科目

学部	学科	科目名	配当学年	単位数	履修方法
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	人間工学	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠A	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	プロダクトデザイン基礎	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	マーケティング	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠B	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	産業とプロダクトデザイン	3	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	道具の歴史	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	ヒューマンインターフェース	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	安全工学	3~4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	情報メディアデザイン	3~4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	リハビリテーション工学	3~4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	医療福祉建築計画	3~4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	支援技術とデザイン	3~4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	福祉住環境コーディネータ論	3~4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	環境デザイン論	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	International Design Practices	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康・スポーツの自然科学	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康・スポーツの人文・社会科学	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ哲学	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	運動学 (運動方法学を含む)	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康スポーツ情報	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	コーチング概論	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	力学基礎	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康スポーツ統計	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	解剖学	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	レクリエーション論	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	生涯スポーツ論	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	精神保健学	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康スポーツ文化論	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツマネジメント	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツビジネス	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	免疫と薬理	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	生活習慣と健康	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	トレーニング概論	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツのコーチング理論Ⅰ	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツのコーチング理論Ⅱ	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ生理学	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	バイオメカニクス	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	センシング技術	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	人体組織学	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	運動疫学	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康社会学	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	ヘルスプロモーション論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康教育学	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	学校保健 (小児保健を含む)	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	障がい者スポーツ論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ史	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ社会学	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ人類学	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	日本文化とスポーツ	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	国際開発論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	国際交流論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ医学Ⅰ (内科)	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ医学Ⅱ (整形外科)	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	アスリートの健康 (予防とマネジメント)	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	アスレティックトレーニング論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ組織論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	トップスポーツ論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ政策論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ施設マネジメント	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツとメディア	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	地域スポーツクラブ論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツマーケティング	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	測定評価	2~4	2	

健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツの法と倫理	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	身体文化論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康政策と行政	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツとコンディショニング	3~4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	情報処理数学Ⅰ	1	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	情報処理数学Ⅱ	1	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	栄養と心理	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	プログラミング言語Ⅰ	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	プログラミング言語Ⅱ	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	マーケティング学	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	意思決定理論	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	食品パッケージ論	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	データサイエンスⅠ	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	データサイエンスⅡ	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	認知科学	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	マスコミ概論	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	行動経済学	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	起業基礎（ビジネスマナー含む）	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	ソムリエ概論	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	医療保険	4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	機械学習Ⅰ	4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	機械学習Ⅱ	4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	持続可能社会と食環境づくり	3	2	

(3)-3 福祉社会デザイン学部人間環境デザイン学科 他学部他学科開放科目

学部	学科	科目名	配当学年	単位数	履修方法
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	高齢者福祉	1	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	社会福祉調査の基礎	1	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	社会保障Ⅰ	2~3	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	社会保障Ⅱ	2~3	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	障害者福祉	1	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	保育原理	1	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	児童・家庭福祉	1	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	教育と福祉	1~4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	社会的養護	1	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	子ども家庭支援論	4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	国際児童福祉	1~4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	子どもの保健	2	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	発達心理学	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康・スポーツの自然科学	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康・スポーツの人文・社会科学	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ哲学	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	運動学(運動方法学を含む)	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康スポーツ情報	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	コーチング概論	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	力学基礎	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康スポーツ統計	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	解剖学	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	レクリエーション論	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	生涯スポーツ論	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	精神保健学	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康スポーツ文化論	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツマネジメント	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツビジネス	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	医学概論	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	免疫と薬理	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	生活習慣と健康	1~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	トレーニング概論	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツのコーチング理論Ⅰ	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツのコーチング理論Ⅱ	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ生理学	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	バイオメカニクス	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	センシング技術	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	人体組織学	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	運動疫学	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康社会学	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	ヘルスプロモーション論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康教育学	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	学校保健(小児保健を含む)	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	障がい者スポーツ論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ史	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ社会学	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ人類学	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	日本文化とスポーツ	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	国際開発論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	国際交流論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ医学Ⅰ(内科)	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ医学Ⅱ(整形外科)	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	アスリートの健康(予防とマネジメント)	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	アスレティックトレーニング論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ組織論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	トップスポーツ論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ政策論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ施設マネジメント	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツとメディア	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	地域スポーツクラブ論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツマーケティング	2~4	2	

健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	測定評価	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツの法と倫理	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	身体文化論	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康政策と行政	2~4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツとコンディショニング	3~4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	情報処理数学Ⅰ	1	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	情報処理数学Ⅱ	1	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	栄養と心理	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	プログラミング言語Ⅰ	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	プログラミング言語Ⅱ	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	マーケティング学	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	意思決定理論	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	食品パッケージ論	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	データサイエンスⅠ	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	データサイエンスⅡ	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	マスコミ概論	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	行動経済学	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	起業基礎 (ビジネスマナー含む)	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	ソムリエ概論	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	医療保険	4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	機械学習Ⅰ	4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	機械学習Ⅱ	4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	持続可能社会と食環境づくり	3	2	

(4) 福祉社会デザイン学部 教職科目 (卒業単位に算入不可)

社会福祉学科

なし

子ども支援学科

なし

人間環境デザイン学科

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
教職科目	-	教職概論	1	2	
教職科目	-	教育基礎論	1	2	
教職科目	-	教育制度論	1	2	
教職科目	-	教育心理学	1	2	
教職科目	-	教育課程総論	1	2	
教職科目	-	職業指導 I	3~4	2	
教職科目	-	職業指導 II	3~4	2	
教職科目	-	工芸科指導法 I	3	2	
教職科目	-	工芸科指導法 II	3	2	
教職科目	-	工業科指導法 I	3	2	
教職科目	-	工業科指導法 II	3	2	
教職科目	-	教育方法の理論と実践 (情報通信技術を含む)	2	2	
教職科目	-	生徒指導論 (進路指導論を含む)	2	2	
教職科目	-	教育相談	2	2	
教職科目	-	教育実習 II (事前・事後指導を含む)	4	3	
教職科目	-	教職実践演習 (中・高)	4	2	
教職科目	-	特別支援教育基礎論	1	2	
教職科目	-	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	
教職科目	-	道徳教育論	3	2	

別表第4 卒業に必要な単位等（第5条第1項関係）

学科	単位数
社会福祉学科	<p>1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。</p> <p>2) 基盤教育科目で、哲学・思想2単位以上、国際人の形成の語学の外国語科目必修8単位、キャリア・市民形成の情報4単位以上を含み、18単位以上を修得すること。また、外国人留学生入試入学者は、上記の他に、国際人の形成の語学の留学生対象科目必修6単位を修得すること。</p> <p>3) 専門教育科目で、学科専門科目を70単位以上（うち必修科目22単位、選択必修科目4単位、選択科目44単位以上）修得すること。</p>
子ども支援学科	<p>1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。</p> <p>2) 基盤教育科目で、哲学・思想2単位以上、国際人の形成の語学の外国語科目必修8単位、キャリア・市民形成のキャリア2単位以上、市民形成2単位以上、情報2単位以上を含み、18単位以上を修得すること。また、外国人留学生入試入学者は、上記の他に、国際人の形成の語学の留学生対象科目必修6単位を修得すること。</p> <p>3) 専門教育科目で、学科専門科目を69単位以上（うち必修科目18単位、選択必修科目4単位もしくは6単位、選択科目47単位以上）修得すること。</p>
人間環境デザイン学科	<p>1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。</p> <p>2) 基盤教育科目で、哲学・思想2単位以上、国際人の形成の語学の外国語科目必修8単位、キャリア・市民形成のキャリア2単位以上、市民形成2単位以上、情報4単位以上を含み、18単位以上を修得すること。また、外国人留学生入試入学者は、上記の他に、国際人の形成の語学の留学生対象科目必修6単位を修得すること。</p> <p>3) 専門教育科目で、学科専門科目を73単位以上（うち必修科目20単位、コース別必修科目10単位、選択科目43単位以上）修得すること。</p>

別表第5 4年次の卒業関係科目の履修条件（第5条第2項関係）

学科	単位数
人間環境デザイン学科	<p>(1) 「空間デザイン演習ⅡA」、「生活環境デザイン演習ⅡA」、「プロダクトデザイン演習ⅡA」、「空間デザイン演習ⅡB」、「生活環境デザイン演習ⅡB」、「プロダクトデザイン演習ⅡB」を履修するためには、下記を満たさなければならない。</p> <p>①「情報リテラシーⅠ」、「情報リテラシーⅡ」、「人間環境デザイン学概論」、「ユニバーサルデザイン概論」、「人間環境デザイン基礎演習Ⅰ」、「人間環境デザイン基礎演習Ⅱ」、「人間環境デザイン基礎演習Ⅲ」、「人間環境デザイン総合演習」、「CAD演習Ⅰ」の単位を全て修得していること。</p> <p>②卒業要件となる科目を100単位以上を修得すること。 卒業要件となる科目は、別表第3に定める基盤教育科目、専門教育科目とする。 なお、他学部他学科開放科目も含める。</p> <p>(2) 卒業研究を履修するためには、以下のいずれかの単位を修得していること。 「空間デザイン演習ⅡA」、「生活環境デザイン演習ⅡA」、「プロダクトデザイン演習ⅡA」、「空間デザイン演習ⅡB」、「生活環境デザイン演習ⅡB」、「プロダクトデザイン演習ⅡB」</p>

別表第6 教育職員免許状取得のための授業科目及び単位数（第8条第1号関係）

福祉社会デザイン学部子ども支援学科

(1) 幼稚園教諭1種免許状

①領域及び保育内容の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
領域及び保育内容の指導法に関する科目	16単位	子どもと健康	1	1	必修
		子どもと人間関係	1	1	必修
		子どもと環境	2	1	必修
		子どもと言葉	1	1	必修
		子どもと表現Ⅰ	1	1	必修
		子どもと表現Ⅱ	1	1	必修
		保育内容総論	1	1	必修
		多文化共生保育・教育	3	1	必修
		保育指導法	3	2	必修
		保育内容の指導法（健康）	2	1	必修
		保育内容の指導法（人間関係）	2	1	必修
		保育内容の指導法（環境）	3	1	必修
		保育内容の指導法（言葉）	2	1	必修
		保育内容の指導法（音楽表現）	3	1	必修
		保育内容の指導法（造形表現）	2	1	必修
		体育あそびの実践	2～4	2	
音楽あそびの実践	2～4	2			
造形あそびの実践	2～4	2			
小計	16単位	—	—	—	

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	14単位	教育基礎論	1	2	必修
		保育者論	2	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		幼児教育論	1	2	必修
		教育心理学	2	1	必修
		発達心理学	1	2	必修
		特別支援教育・保育Ⅰ	1	1	必修
		特別支援教育・保育Ⅱ	2	1	
		保育カリキュラム論	2	2	必修

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	5単位	幼児教育方法（情報機器の活用を含む）	3	2	必修
		子どもの理解と援助	3	1	必修
		保育・教育相談	3	2	必修
教育実践に関する科目	7単位	教育実習Ⅲ（事前・事後指導を含む）	3	5	必修
		保育・教職実践演習	4	2	必修
小計	26単位	—	—	—	—

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	-	保育原理	1	2	
		子ども家庭支援の心理学	3	2	
		子どもと文学	1～4	2	
		国語表現法	1～4	2	
		生活と総合学習	1～4	2	
		子どもの権利と教育	1～4	2	
		子育て支援実践	1～4	1	
		多文化共生保育・教育実践	1～4	1	
小計	-	—	—	—	—

合計	51単位	①、②、③の合計で51単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	1～4	2	必修
体育	2単位	スポーツ健康科学実技Ⅰ	1～4	1	これら6科目より2単位選択必修。ただし、スポーツ健康科学実技Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳから必ず1単位を修得すること。
		スポーツ健康科学実技Ⅱ	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技Ⅲ	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技Ⅳ	1～4	1	
		スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
		スポーツ健康科学講義Ⅱ	1～4	2	
外国語コミュニケーション	2単位	英語ⅠA	1	1	選択必修
		英語ⅠB	1	1	選択必修
		英語ⅡA	1	1	選択必修
		英語ⅡB	1	1	選択必修
		英語ⅢA	2	1	選択必修
		英語ⅢB	2	1	選択必修
		英語ⅣA	2	1	選択必修
		英語ⅣB	2	1	選択必修
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2単位	情報リテラシーⅠ	1～4	2	選択必修
		情報リテラシーⅡ	1～4	2	選択必修

福祉社会デザイン学部人間環境デザイン学科

(1) 高等学校教諭1種免許状(工業)

①教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
工業の関係科目	4単位	人間環境デザイン基礎演習Ⅰ	1	3	選択必修
		人間環境デザイン基礎演習Ⅲ	2	3	選択必修
		人間工学	2	2	必修
		都市・まちのデザイン	1	2	選択必修
		建築生産	1	2	選択必修
		材料・素材一般	1	2	選択必修
		住居計画	2	2	選択必修
		生活空間計画	2	2	選択必修
		コンピュータ・グラフィックス	2	2	選択必修
		環境計画	2	2	選択必修
		ヒューマンインターフェース	2	2	選択必修
		安全工学	3~4	2	必修
		空間デザイン演習ⅠA	3	3	選択必修
		空間デザイン演習ⅠB	3	3	選択必修
		空間デザイン演習ⅡA	4	2	選択必修
		空間デザイン演習ⅡB	4	2	選択必修
		構造力学	2	2	選択必修
		建築空間構成論	3~4	2	選択必修
		構法計画	3~4	2	選択必修
		構法計画演習	3~4	1	選択必修
		ランドスケープデザイン	3~4	2	選択必修
		設備計画	3~4	2	選択必修
		材料力学	3~4	2	選択必修
		生活環境デザイン演習ⅠA	3	3	選択必修
		生活環境デザイン演習ⅠB	3	3	選択必修
		生活環境デザイン演習ⅡA	4	2	選択必修
		生活環境デザイン演習ⅡB	4	2	選択必修
		リハビリテーション工学	3~4	2	選択必修
		福祉デザイン工学概論	2	2	選択必修
		福祉デザイン工学各論	3~4	2	選択必修
職業指導	4単位	職業指導Ⅰ	3~4	2	必修
		職業指導Ⅱ	3~4	2	必修
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4単位	工業科指導法Ⅰ	3	2	※
		工業科指導法Ⅱ	3	2	※
合計	24単位	—	—	—	—

※免許法施行規則第5条表備考6により、工業の普通免許状の授与を受ける場合は、当分の間、各教科の指導法に関する科目、教諭の教育の基礎的理解に関する科目等の全部又は一部の単位は、当該免許状に係る教科に関する専門的事項に関する科目について修得することができる。

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育基礎論	1	2	※
		教職概論	1	2	※
		教育制度論	1	2	※
		教育心理学	1	2	※
		特別支援教育基礎論	1～3	2	※
		教育課程総論	1	2	※
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	※
		教育方法の理論と実践（情報通信技術を含む）	2	2	※
		生徒指導論（進路指導論を含む）	2	2	※
		教育相談	2	2	※
教育実践に関する科目	5単位	教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）	4	3	※
		教職実践演習（中・高）	4	2	※
小計	25単位	—	—	—	—

※免許法施行規則第5条表備考6により、工業の普通免許状の授与を受ける場合は、当分の間、各教科の指導法に関する科目、教諭の教育の基礎的理解に関する科目等の全部又は一部の単位は、当該免許状に係る教科に関する専門的事項に関する科目について修得することができる。

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	道徳教育論	3	2	
小計	—	—	—	—	

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(2) 高等学校教諭1種免許状（工芸）

①教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
図法・製図	2単位	人間環境デザイン基礎演習Ⅱ	1	3	必修
		CAD演習Ⅰ	1	2	選択必修
		CAD演習Ⅱ	2	2	選択必修

デザイン	2単位	人間環境デザイン総合演習	2	3	必修
		製品と情報のUD	1	2	選択必修
		建築歴史意匠A	1	2	選択必修
		建築歴史意匠B	2	2	選択必修
		建築設計論	3～4	2	選択必修
		情報デザインⅠ	2	2	選択必修
		情報デザインⅡ	3～4	2	選択必修
		情報メディアデザイン	3～4	2	選択必修
工芸制作（プロダクト制作を含む。）	2単位	プロダクトデザイン基礎	1	2	必修
		産業とプロダクトデザイン	3	2	選択必修
		プロダクトデザインⅠ	3～4	2	選択必修
		プロダクトデザインⅡ	3～4	2	選択必修
		プロダクトデザイン演習ⅠA	3	3	選択必修
		プロダクトデザイン演習ⅠB	3	3	選択必修
		プロダクトデザイン演習ⅡA	4	2	選択必修
		プロダクトデザイン演習ⅡB	4	2	選択必修
工芸理論・デザイン理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。）	2単位	人間環境デザイン学概論	1	2	選択必修
		ユニバーサルデザイン概論	1	2	選択必修
		美術一般	1～3	2	必修
		道具の歴史	1	2	選択必修
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	4単位	工芸科指導法Ⅰ	3	2	必修
		工芸科指導法Ⅱ	3	2	必修
小計	24単位	—	—	—	—

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育基礎論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		特別支援教育基礎論	1～3	2	必修
		教育課程総論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	必修
		教育方法の理論と実践（情報通信技術を含む）	2	2	必修
		生徒指導論（進路指導論を含む）	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	5単位	教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）	4	3	必修
		教職実践演習（中・高）	4	2	必修
小計	25単位	—	—	—	—

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	道徳教育論	3	2	
小計	—	—	—	—	

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	1～4	2	必修
体育	2単位	スポーツ健康科学実技Ⅰ	1～4	1	これら6科目より2単位選択必修。ただし、スポーツ健康科学実技Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳから必ず1単位を修得すること。
		スポーツ健康科学実技Ⅱ	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技Ⅲ	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技Ⅳ	1～4	1	
		スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
		スポーツ健康科学講義Ⅱ	1～4	2	
外国語コミュニケーション	2単位	英語ⅠA	1	1	選択必修
		英語ⅠB	1	1	選択必修
		英語ⅡA	1	1	選択必修
		英語ⅡB	1	1	選択必修
		英語ⅢA	2	1	選択必修
		英語ⅢB	2	1	選択必修
		英語ⅣA	2	1	選択必修
		英語ⅣB	2	1	選択必修
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2単位	情報リテラシーⅠ	1～4	2	選択必修
		情報リテラシーⅡ	1～4	2	選択必修

別表第7 社会福祉士受験資格取得のための授業科目及び単位数（第8条第2号関係）

福祉社会デザイン学部社会福祉学科、子ども支援学科社会福祉士コース

指定科目	本学開講科目名	配当学年	単位数	履修方法
医学概論	医学概論	1	2	必修
心理学と心理的支援	心理学	1～4	2	必修
社会学と社会システム	社会学	1～4	2	必修
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	必修
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1	2	必修
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	1	2	必修
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	必修
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1	2	必修
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	必修
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2	必修
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ（専門）	2	2	必修
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ（専門）	3	2	必修
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2～3	2	必修
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2～3	2	必修
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2～3	2	必修
社会保障	社会保障Ⅰ	2～3	2	必修
	社会保障Ⅱ	2～3	2	必修
高齢者福祉	高齢者福祉	1	2	必修
障害者福祉	障害者福祉	1	2	必修
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉	1	2	必修
貧困に対する支援	貧困に対する支援	2～3	2	必修
保健医療と福祉	保健医療と福祉	2	2	必修
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2～3	2	必修
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2～3	2	必修
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2	必修
ソーシャルワーク演習（専門）	ソーシャルワーク演習Ⅱ（専門）	2	2	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅲ（専門）	3	2	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅳ（専門）	3	2	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅴ（専門）	4	2	必修
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	1	必修
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3	1	必修
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3	1	必修
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	2	必修
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3	4	必修

別表第8 精神保健福祉士受験資格取得のための授業科目及び単位数（第8条第3号関係）

福祉社会デザイン学部社会福祉学科

指定科目	本学開講科目名	配当学年	単位数	履修方法
医学概論	医学概論	1	2	必修
心理学と心理的支援	心理学	1～4	2	必修
社会学と社会システム	社会学	1～4	2	必修
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	必修
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1	2	必修
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2～3	2	必修
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2～3	2	必修
社会保障	社会保障Ⅰ	2～3	2	必修
	社会保障Ⅱ	2～3	2	必修
障害者福祉	障害者福祉	1	2	必修
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2～3	2	必修
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2～3	2	必修
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	1	2	必修
精神医学と精神医療	精神医学と精神医療Ⅰ	2	2	必修
	精神医学と精神医療Ⅱ	2	2	必修
現代の精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	1	2	必修
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	1	2	必修
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	必修
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	2	必修
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2	2	必修
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	必修
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2	必修
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（専門）（精神）	2	2	必修
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ（専門）（精神）	2	2	必修
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	3	2	必修
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	3	2	必修
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2	必修
ソーシャルワーク演習（専門）	ソーシャルワーク演習Ⅰ（専門）（精神）	3	2	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅱ（専門）（精神）	3	2	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅲ（専門）（精神）	4	2	必修
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（精神）	3	1	必修
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（精神）	4	1	必修
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ（精神）	4	1	必修
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習（精神）	4	4	必修

別表第9 介護福祉士受験資格取得のための授業科目及び単位数（第8条第4号関係）

福祉社会デザイン学部社会福祉学科介護福祉士コース

社会福祉士介護福祉士学校指定規則 に定める教育の内容		本学開講科目名	配当学年	単位数	履修方法
領域	教育内容				
人間と社会	人間の尊厳と自立	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	必修
	人間関係とコミュニケーション	心理学	1～4	2	必修
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ（専門）	2	2	必修
	社会の理解	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	必修
		社会福祉の原理と政策Ⅱ	1	2	必修
	人間と社会に関する選択科目	社会学	1～4	2	必修
社会保障Ⅰ		2～3	2	必修	
介護	介護の基本	社会保障Ⅱ	2～3	2	必修
		介護福祉援助概論Ⅰ	1	2	必修
		介護福祉援助概論Ⅱ	2	2	必修
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1	2	必修
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	必修
		ケアワーク論	2	2	必修
	コミュニケーション技術	福祉サービスの組織と経営	2～3	2	必修
		介護コミュニケーション技術Ⅰ	2	2	必修
	生活支援技術	介護コミュニケーション技術Ⅱ	3	2	必修
		生活支援技術Ⅰ	1	1	必修
		生活支援技術Ⅱ	2	1	必修
		生活支援技術Ⅲ	2	1	必修
		生活支援技術Ⅳ	2	1	必修
		生活支援技術Ⅴ	2	1	必修
		生活支援技術Ⅵ	3	1	必修
		生活支援技術Ⅶ	3	1	必修
		生活支援技術Ⅷ	3	1	必修
		生活支援技術Ⅸ	4	1	必修
	介護過程	生活支援技術Ⅹ	3	1	必修
		介護過程Ⅰ	1	1	必修
		介護過程Ⅱ	2	1	必修
		介護過程Ⅲ	3	1	必修
		介護過程Ⅳ	4	1	必修
	介護総合演習	介護過程の応用	4	1	必修
		介護総合演習Ⅰ	1	1	必修
		介護総合演習Ⅱ	2	1	必修
		介護総合演習Ⅲ	2	1	必修
	介護実習	介護総合演習Ⅳ	3	1	必修
		介護福祉実習Ⅰ	1	2	必修
		介護福祉実習Ⅱ	2	3	必修
介護福祉実習Ⅲ		3	3	必修	
こころとからだのしくみ	介護福祉実習Ⅳ	4	2	必修	
	発達と老化の理解	高齢者福祉	1	2	必修
	認知症の理解	発達と老化の理解	1～4	2	必修
		認知症の理解Ⅰ	1～4	2	必修
	障害の理解	認知症の理解Ⅱ	1～4	2	必修
		障害者福祉	1	2	必修
	こころとからだのしくみ	権利擁護を支える法制度	2～3	2	必修
		こころとからだのしくみⅠ	1～4	2	必修
		こころとからだのしくみⅡ	1～4	2	必修
		こころとからだのしくみⅢ	1～4	2	必修
医療的ケア	医学概論	1	2	必修	
	医療的ケアⅠ	3	2	必修	
	医療的ケアⅡ	3	2	必修	
	医療的ケアⅢ	4	2	必修	
—	—	実習指導の理論と方法	3～4	2	必修
		介護教育方法	3～4	2	選択
		生活支援のための運動学とリハビリテーション	3～4	2	選択

別表第10 保育士資格取得のための授業科目及び単位数（第8条第5号関係）

福祉社会デザイン学部子ども支援学科

①必修科目

児童福祉法施行規則の 指定保育士養成施設の修業教科目		本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法	
系列	教科目					
保育の本質・目的に 関する科目	保育原理	保育原理	1	2	必修	
	教育原理	教育基礎論	1	2	必修	
	子ども家庭福祉	児童・家庭福祉	1	2	必修	
	社会福祉	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	必修	
	子ども家庭支援論	子ども家庭支援論	4	2	必修	
	社会的養護Ⅰ	社会的養護	1	2	必修	
保育の対象の理解 に関する科目	保育者論	保育者論	2	2	必修	
	保育の心理学	発達心理学	1	2	必修	
	子ども家庭支援の心理学	子ども家庭支援の心理学	3	2	必修	
	子どもの理解と援助	子どもの理解と援助	3	1	必修	
	子どもの保健	子どもの保健	2	2	必修	
	子どもの食と栄養	子どもの食と栄養（実習含む）	1	2	必修	
保育の内容・方法に 関する科目	保育の計画と評価	保育カリキュラム論	2	2	必修	
	保育内容総論	保育内容総論	1	1	必修	
	保育内容演習	保育内容の指導法（言葉）	保育内容の指導法（言葉）	2	1	必修
		保育内容の指導法（環境）	保育内容の指導法（環境）	3	1	必修
		保育内容の指導法（健康）	保育内容の指導法（健康）	2	1	必修
		保育内容の指導法（人間関係）	保育内容の指導法（人間関係）	2	1	必修
		保育内容の指導法（音楽表現）	保育内容の指導法（音楽表現）	3	1	必修
		保育内容の指導法（造形表現）	保育内容の指導法（造形表現）	2	1	必修
	保育内容の理解と方法	子どもと健康	子どもと健康	1	1	必修
		子どもと人間関係	子どもと人間関係	1	1	必修
		子どもと環境	子どもと環境	2	1	必修
		子どもと言葉	子どもと言葉	1	1	必修
		子どもと表現Ⅰ	子どもと表現Ⅰ	1	1	必修
		子どもと表現Ⅱ	子どもと表現Ⅱ	1	1	必修
	乳児保育Ⅰ	乳児保育Ⅰ	2	2	必修	
	乳児保育Ⅱ	乳児保育Ⅱ	4	1	必修	
	子どもの健康と安全	子どもの健康と安全	3	1	必修	
	障害児保育	特別支援教育・保育Ⅰ	特別支援教育・保育Ⅰ	1	1	必修
		特別支援教育・保育Ⅱ	特別支援教育・保育Ⅱ	2	1	必修
	社会的養護Ⅱ	社会的養護内容	2	1	必修	
子育て支援	子育て支援	4	1	必修		
保育実習	保育実習Ⅰ	保育実習ⅠA（施設）	2	2	必修	
		保育実習ⅠB（保育所）	3	2	必修	
	保育実習指導Ⅰ	保育実習指導ⅠA（施設）	2	1	必修	
		保育実習指導ⅠB（保育所）	3	1	必修	
総合演習	保育実践演習	保育・教職実践演習	4	2	必修	

②選択必修科目

児童福祉法施行規則の 指定保育士養成施設の修業教科目		本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
系列	教科目				
保育の本質・目的に関する科目		教育制度論	1	2	選択必修
		子どもソーシャルワーク	3	2	選択必修
		子どもの権利と教育	1～4	2	選択必修
		国際児童福祉	1～4	2	選択必修
保育の対象の理解に関する科目		保育・教育相談	3	2	選択必修
		多文化共生保育・教育	3	1	選択必修
		発達心理学専門演習	2～4	2	選択必修
保育の内容・方法に関する科目		保育指導法	3	2	選択必修
		多文化共生保育・教育実践	1～4	1	選択必修
		子育て支援実践	1～4	1	選択必修
		音楽表現専門演習	2～4	2	選択必修
		音楽あそびの実践	2～4	2	選択必修
		体育あそびの実践	2～4	2	選択必修
		造形あそびの実践	2～4	2	選択必修
		保育音楽表現技術Ⅰ	2～4	2	選択必修
		保育音楽表現技術Ⅱ	2～4	2	選択必修

保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	保育実習Ⅱ（保育所）	4	2	Ⅱ、Ⅲいずれかを選択必修
		保育実習Ⅲ（施設）	4	2	
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	保育実習指導Ⅱ（保育所）	4	1	
		保育実習指導Ⅲ（施設）	4	1	

※上記②表から、「保育実習」3単位を含み、9単位を修得すること。

※上記②表の「保育実習」は、「保育実習Ⅱおよび保育実習指導Ⅱ」または「保育実習Ⅲおよび保育実習指導Ⅲ」のいずれか選択必修

③一般教養的科目

児童福祉法施行規則の 指定保育士養成施設の修業教科目		本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
系列	教科目				
教養科目	外国語、体育以外の科目	日本文学	1～4	2	6単位 選択必修
		文章読解	1～4	2	
		国語表現法	1～4	2	
		口頭表現法	1～4	2	
		レポート・論文のまとめ方	1～4	2	
		音楽一般	1～4	2	
		美術一般	1～4	2	
		哲学	1～4	2	
		心理学	1～4	2	
		日本国憲法	1～4	2	
		社会学	1～4	2	
	外国語	英語ⅠA	1	1	2単位 選択必修
		英語ⅠB	1	1	
		英語ⅢA	2	1	
		英語ⅢB	2	1	
	体育に関する実技	スポーツ健康科学実技Ⅰ	1～4	1	1単位 選択必修
		スポーツ健康科学実技Ⅱ	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技Ⅲ	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技Ⅳ	1～4	1	
	体育に関する講義	生涯スポーツ論	1～4	2	2単位 選択必修
		スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
		スポーツ健康科学講義Ⅱ	1～4	2	

別表第11 社会福祉主事任用資格取得のための授業科目及び単位数（第8条第6号関係）

福祉社会デザイン学部

社会福祉主事任用資格に関する指定科目	本学開講科目名	単位数	履修方法
社会福祉概論	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	
社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	
社会保障論	社会保障Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	社会保障Ⅱ	2	
公的扶助論	貧困に対する支援	2	
児童福祉論	児童・家庭福祉	2	
保育理論	保育原理	2	
身体障害者福祉論	障害者福祉	2	
精神障害者保健福祉論	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2	
老人福祉論	高齢者福祉	2	
地域福祉論	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	
法学	法学	2	
経済学	経済学	2	
心理学	心理学	2	
社会学	社会学	2	
医学一般	医学概論	2	
介護概論	介護福祉援助概論Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	介護福祉援助概論Ⅱ	2	
栄養学	食と健康	2	

上記の「社会福祉主事任用資格に関する指定科目」のうちから3科目以上修得し、卒業すること。
 （指定科目において、本学開講科目のうち、いずれか1科目修得することで当該指定科目を修得したものとみなす。ただし、履修方法が指定されている科目はすべてを履修、修得することで1科目としてみなす。）